



TITLE:

京大上海センターニュースレター 第124号

AUTHOR(S):

京都大学経済学研究科上海センター

CITATION:

京都大学経済学研究科上海センター. 京大上海センターニュースレター 第124号. 京大上海センターニュースレター 2006, 124

ISSUE DATE:

2006-08-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/26440>

RIGHT:

京大上海センターニュースレター

第 124 号 2006 年 8 月 31 日

京都大学経済学研究科上海センター

目次

○図們江地域物流ルートの現状と問題点(上)

+++++

図們江地域物流ルートの現状と問題点(上)

ー中国延辺地域を中心にー

中国延辺大学経済管理学院助教授 権哲男

1. 延辺地域の GDP 推移

(1) GDP 規模 (表 1)

2004 年、約 185 億元 (約 22.6 億ドル)。うち、1 次産業約 28 億元、2 次産業約 83 億元、サービス産業約 74 億元。一人当たり GDP : 8,503 元

表 1. 延辺地域の GDP				(単位:百万元)				
	GDP	1次産業	2次産業			サージス業		
				鉱工業	建設業		運輸 通信	卸・小売 飲食業
2000	12,936	2,232	5,564	4,699	865	5,139	1,227	1,520
2001	14,081	2,279	6,260	5,308	952	5,542	1,304	1,640
2002	15,329	2,207	7,122	6,039	1,159	6,001	1,399	1,741
2003	16,862	2,500	7,630	6,254	1,376	6,732	1,738	1,841
2004	18,549	2,816	8,346	6,815	1,530	7,388	1,962	1,952
出所:《延辺統計年鑑2005》。								
注: 価格は2000年価格。								

(2) GDP 成長率 (表 2)

1991～94 年平均成長率: GDP8.6%、1 次産業 5.6%、2 次産業 6.7% (鉱工業 5.7%、建設業 21%)、サービス業 17%と特に高い。 中国経済の過熱化の影響

1995～98 年平均成長率: GDP5.2%に低下、1 次産業 2%に低下、2 次産業 6.1% (鉱工業 7.5%、建設業-5%)、サービス業 5.5%と著しい減少

1999～2004 年平均成長率: GDP9.5%に上昇、1 次産業 8.1%に上昇、2 次産業 11.3%に上昇 (鉱工業 11.1%、建設業 13.3%)、サービス業 7.9%に上昇、再び高い成長率を維持

表 2 . 延辺地域のGDP成長率 (単位: %)									
	GDP	1次産業	2次産業			サービス業			一人当り
				鉱工業	建設業		運輸 通信	卸・小売 飲食業	GDP
1991	2.8	-4.6	-3.5	-4.7	9.1	20.8	7.7	29.4	1.8
1992	8.0	-2.6	7.6	5.3	28.9	15.0	11.3	38.0	7.4
1993	11.1	-30.9	19.7	12.3	75.6	20.9	8.9	23.3	9.8
1994	12.5	60.6	3.2	9.9	-29.2	11.4	7.4	5.3	11.4
1995	3.9	-5.3	4.2	5.7	-6.4	7.3	23.8	1.6	3.0
1996	6.9	24.3	2.2	3.2	-6.8	6.4	12.0	-1.1	6.2
1997	5.1	-7.0	10.0	13.3	-20.2	4.4	12.5	-0.1	4.9
1998	4.8	-4.0	8.2	7.8	13.3	4.0	11.7	6.0	4.8
1999	9.0	31.3	6.9	6.9	7.2	3.8	8.9	5.1	9.0
2000	10.3	5.7	13.2	13.4	10.8	8.3	6.6	8.3	10.3
2001	8.9	2.1	12.5	13.0	10.1	7.8	6.2	7.9	8.8
2002	8.9	-3.2	13.8	13.8	21.7	8.3	7.3	6.2	8.7
2003	10.0	-0.1	11.8	10.4	18.7	9.6	13.0	5.7	10.1
2004	10.0	12.6	9.4	9.0	11.2	9.7	12.8	6.0	10.3
出所: 《延辺統計年鑑2005》。									
注: 成長率は対前年度成長率。									

(3) 産業構造 (表 3)

産業構造: 2004 年 1 次産業約 15%、二次産業約 45%、サービス産業約 40%

1 次産業の割合は低下、2 次産業の割合は増加、サービス産業の割合は横ばい

表 3 . 延辺地域の産業構造 (%)							
	1次産業	2次産業			サービス業		
			鉱工業	建設業		運輸 通信	卸・小 売飲 食業
2000	17.3	43.0	36.3	6.7	39.7	9.5	11.7
2001	16.2	44.5	37.7	6.8	39.4	9.3	11.6
2002	14.4	46.5	39.4	7.6	39.1	9.1	11.4
2003	14.8	45.2	37.1	8.2	39.9	10.3	10.9
2004	15.2	45.0	36.7	8.3	39.8	10.6	10.5
资料来源: 《延辺統計年鑑2004》。							
注: 価格は2000年価格。							

2. 延辺地域の対外貿易

(1) 輸出入額の推移 (図 1)

1992~93 年: 著しい増加

輸出入額: 1991 年 1.45 億ドル、1993 年 4.68 億ドルに急増—中国経済過熱による建設
素材需要の増加、1992 年からの辺境貿易規制緩和、対ロシア、朝鮮の貿易の増加

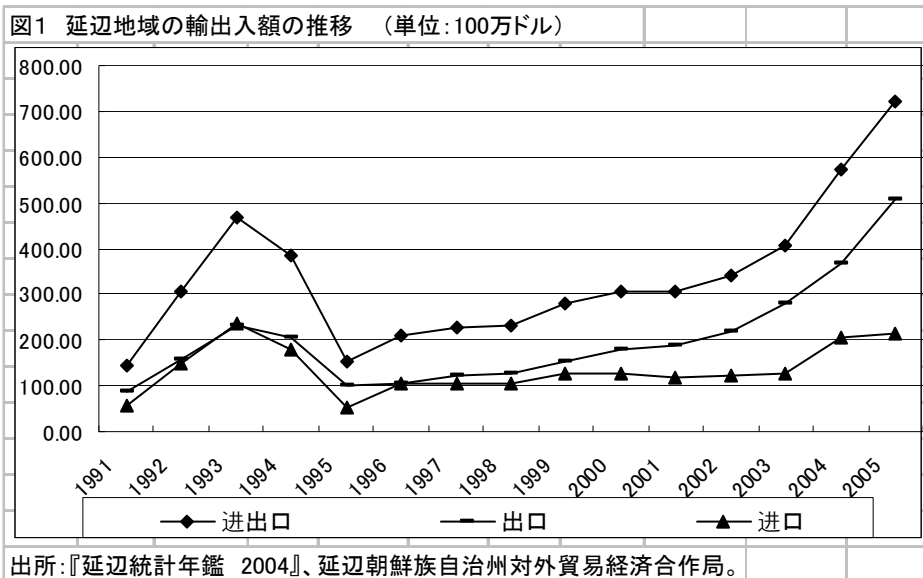
1994~95: 減少、特に 1995 年著しい減少

輸出入額: 1995 年の 1.55 億ドルに激減、中国政府の緊縮政策の影響

1996~2001 年: 緩やかな増加

輸出入額: 2001 年の 3.07 億ドル

2002 年から再び急速に増加: 2005 年の 7.2 億ドル—主に輸出の増加によるもの



(2) 国別輸出入額と増加率 (表4)、(表5)

1992～94年：対朝鮮、ロシア貿易が中心、延辺地域の貿易額の90%前後、特に対朝鮮貿易が半分以上を占める。

1995～2001年：1995年対朝鮮とロシア貿易激減、その後回復の兆しがみられない
対韓国貿易（通貨危機の影響をのぞけば）とその他国の貿易が増加、対日本貿易の増加は非常に緩慢

2002～05年：対朝鮮貿易が再び急増、その他国の貿易も大きく増加、2004年から対ロシア貿易が急増、対韓国と日本の貿易増加は非常に緩慢

表4. 延辺地域の主な貿易相手国の輸出入額と増加率（単位：100万ドル、％）													
	朝鮮		俄罗斯		韓国		日本		その他		輸出入額		
	額	増加率	額	増加率	額	増加率	額	増加率	額	増加率	額	増加率	
1992	146	－	121	－	7	－	3	－	31		307	－	
1993	307	110.6	135	12.2	6	－5.9	4	34.2	14	－53.0	468	52.3	
1994	226	－26.5	117	－13.8	37	495.9	22	388.7	－18	－225.5	383	－18.0	
1995	54	－76.0	11	－90.2	59	58.2	25	16.5	5	－124.9	155	－59.7	
1996	22	－59.1	13	16.6	96	62.6	28	12.4	50	1,012.6	210	36.0	
1997	35	59.4	6	－55.0	74	－22.6	47	64.4	65	30.0	228	8.3	
1998	32	－10.5	19	218.1	54	－27.5	32	－31.6	93	42.8	230	1.0	
1999	46	44.3	50	158.9	74	37.3	49	55.1	60	－35.6	279	21.3	
2000	40	－11.4	50	0.7	82	10.4	－	－	－	－	307	10.2	
2001	50	24.2	45	－10.3	91	11.4	49	－	72	－	307	0.0	
2002	95	88.4	34	－24.9	103	13.5	45	－8.4	63	－13.1	339	10.4	
2003	117	23.2	29	－15.0	116	11.9	53	18.2	95	50.8	408	20.5	
2004	216	85.2	70	146.1	115	－0.9	56	6.1	116	21.9	572	40.2	
2005	262	21.4	106	50.8	123	7.6	60	8.0	168	45.3	720	25.8	
出所: 延辺朝鮮族自治州対外貿易経済合作局。													

表5. 延辺地域輸出入額に占める各国の割合 (単位: %)						
	朝鮮	俄罗斯	韓国	日本	其他地区	合計
	%	%	%	%	%	%
1992	47.5	39.2	2.1	1.0	10.2	100.0
1993	65.7	28.9	1.3	0.9	3.2	100.0
1994	58.9	30.4	9.7	5.6	-4.6	100.0
1995	35.0	7.4	38.2	16.3	3.1	100.0
1996	9.7	6.3	45.7	13.4	24.9	100.0
1997	15.5	2.6	32.6	20.4	28.9	100.0
1998	13.7	8.3	23.4	13.8	40.8	100.0
1999	16.3	17.8	17.7	17.7	30.5	100.0
2000	13.1	16.2	26.6	-	44.1	100.0
2001	22.2	14.6	29.6	15.8	17.8	100.0
2002	27.9	9.9	30.5	13.1	18.6	100.0
2003	28.5	7.0	28.3	12.9	23.3	100.0
2004	37.7	12.3	20.0	9.8	20.2	100.0
2005	36.4	14.8	17.1	8.4	23.3	100.0
出所: 延辺朝鮮族自治州対外貿易経済合作局。						

(3) 主な貿易相手国別輸出入額 (表6)

対朝鮮は輸出入ともに増加、対露及びその他の国は輸出が大幅増、輸入は横ばい
対韓および対日は輸入の微増

表6. 主な貿易相手国別輸出入額と貿易収支 (単位: 百万ドル)				
		2003	2004	2005
朝鮮	輸出	76	98	133
	輸入	40	118	129
	貿易収支	36	-21	4
ロシア	輸出	13	58	89
	輸入	15	12	17
	貿易収支	-2	46	71
韓国	輸出	88	81	95
	輸入	27	34	29
	貿易収支	61	48	66
日本	輸出	43	44	50
	輸入	10	12	11
	貿易収支	33	32	39
その他	輸出	61	86	141
	輸入	34	29	28
	貿易収支	27	57	113
出所: 税関統計。				

(4) 輸出入商品構造 (表7)、(表8)

輸出商品構成: 木及びその製品 27%、農産物 15%、織物原料及びその製品 14%、靴・帽子類 13%、四品目合わせて約 70%
輸入商品構成: 鉱産物 32%、海産物 25%、両品目合わせて約 57%
鉱産物は主に北朝鮮の鉄鉱砂の輸入、鉱産物輸入額の約 75%

表7. 2006年1～5月までの輸出商品構成(単位: 万ドル)

	額	割合	
木及びその製品	5,996	27.2	
農産物	3,387	15.4	
織物原料及びその製品	3,132	14.2	
靴・帽子類	2,753	12.5	
化学製品	1,880	8.5	
機電製品	1,089	4.9	
海産品	961	4.4	
ビニル及びその製品	819	3.7	
石炭	390	1.8	
その他	1645	7.5	
合計	22,052	100.0	
出所: 税関統計			

表8. 2006年1～5月までの輸入商品構成(単位: 万ドル)

	額	割合	
鉱産物	2,682	31.9	
海産品	2,085	24.8	
織物原料及びその製品	661	7.9	
金属及びその製品	622	7.4	
機電製品	544	6.5	
木及びその製品	512	6.1	
石炭	451	5.4	
農産物	445	5.3	
機会設備	363	4.3	
化学製品	318	3.8	
ビニル及びその製品	272	3.2	
果物類	123	1.5	
その他	—	—	
合計	9,078	108.0	
出所: 税関統計			
注: ①提供された資料において、輸入総額は8409万ドル、 各品目別輸入額の合計は9078万ドルと合致しない。			
②割合は輸入額8409万ドルより計算された。			

(本稿は7月3日の上海センター・シンポジウムにおいて中国延辺大学経済管理学院助教授
権哲男が報告されたものの報告原稿を本人の了解をとって掲載したものです)